

目標とする都市像



キャッチフレーズ・テーマ（目標とする都市像）

未来へ輝く 希望と信頼のまち こまつしま

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本港地区みなとまちづくり基本構想

令和5年3月

小松島市

目次

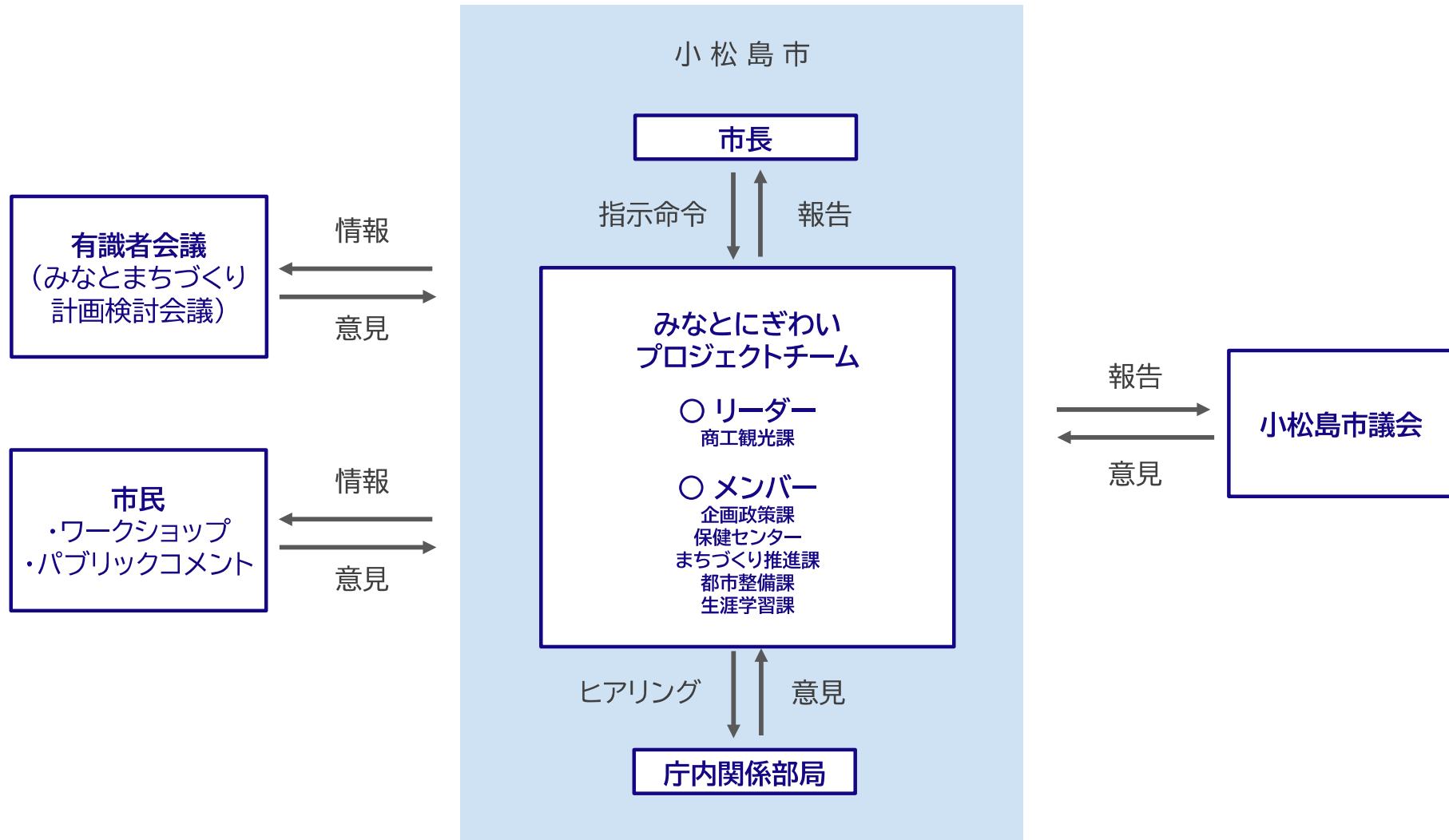
01. 計画の位置づけと策定の流れ	1
02. 本港地区及び中心市街地の現況	4
03. みなとまちづくりの考え方	8
04. まちづくりを考える上での視点と将来像	11
05. 本港地区及び中心市街地のゾーニング	13
06. 将来像の実現に向けた5つの戦略	14
07. みなとまちづくりプロジェクト	16
08. 今後の整備方針	23

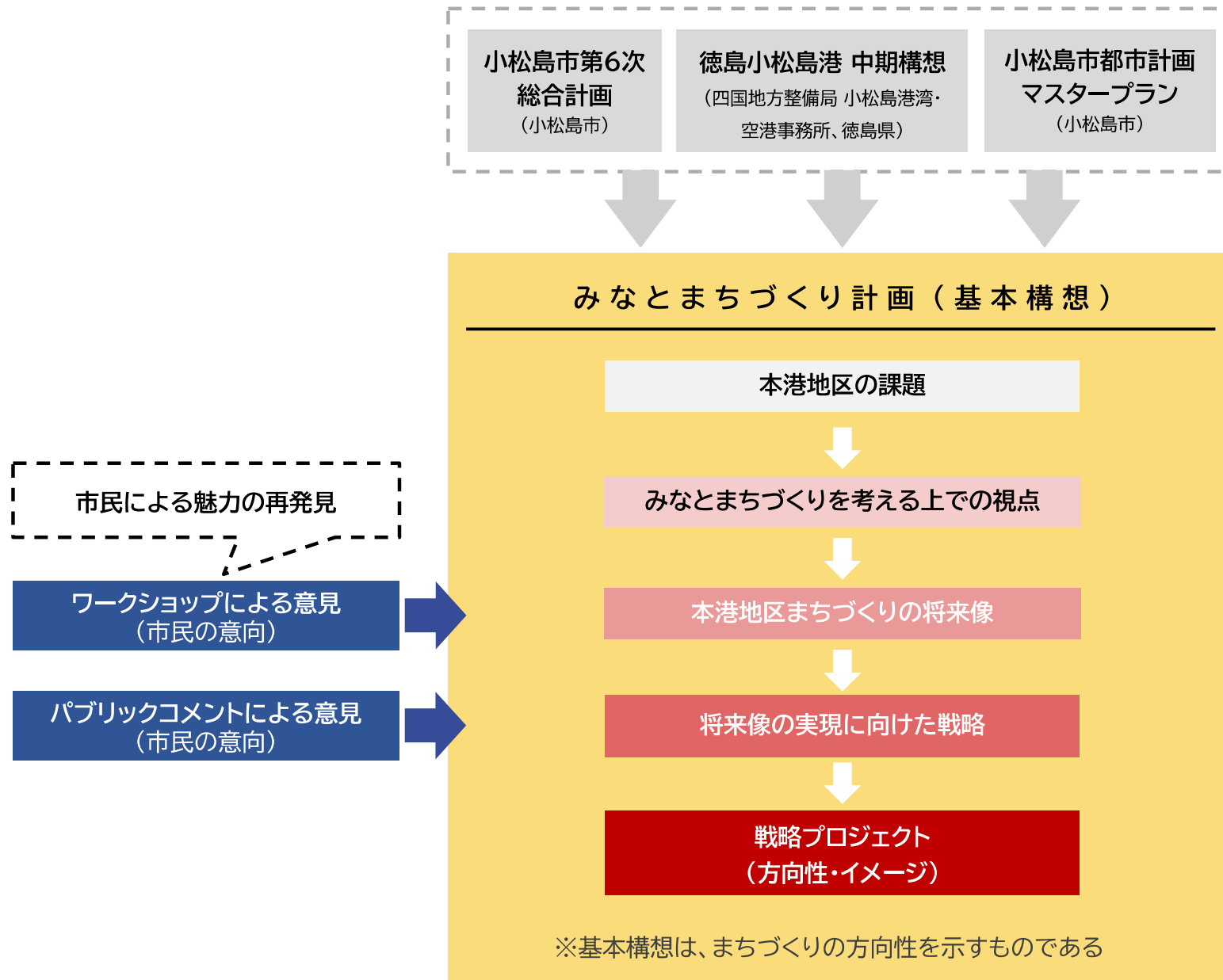


上位計画

- ・小松島市第6次総合計画
- ・徳島小松島港 中期構想
- ・小松島市都市計画マスタープラン

みなとまちづくり計画（基本構想）





(1) 港湾機能について

【本港地区の概要】

本港地区は、1万トン岸壁の完成と南海フェリー等の就航により、人が集まり活気あふれる”みなとまち”として発展してきました。しかし、昭和60年の国鉄小松島港線の廃止や、平成10年の本州四国連絡道路神戸鳴門ルート of 全線開通や平成11年の南海フェリー小松島和歌山航路の徳島港区への移転による交通体系の再編により来訪者が減少するなど、本港地区を取り巻く状況が急激に変化しました。

その後、旧フェリーターミナルを再利用した「みなと交流センターkocolo」での屋内フリーマーケットや産直市の開催、国鉄小松島港線跡地に整備された小松島ステーションパーク等により来訪者が見られるものの、かつてのにぎわいを取り戻すまでには至っておらず、本港地区を取り巻く社会環境の変化への対応が求められています。

【本港地区の状況】

国鉄小松島港線跡地に整備された小松島ステーションパークには「SL記念広場」「たぬき広場」「記念碑広場」「物産広場」「わんぱくコーナー」の5つのスペースと「生涯学習センター市立図書館」があり、それらを緑豊かな散策の道・プロムナードが結んでいます。また南海フェリーターミナルは、平成14年にみなと交流センターkocoloとして開業し、産直市などが開催されていました。

現在、本港地区の港湾は、内航船の利用者だけではなく、クルーズ船の寄港地としても利用されています。周辺には、公園や多目的広場などの交流施設、史跡・旧跡、医療施設、行政機関などの公共施設が集積しており、港や海辺に関連する花火大会、小松島みなとマルシェなど、時期に合わせたイベントが開催されています。



02.

本港地区及び中心市街地の現況

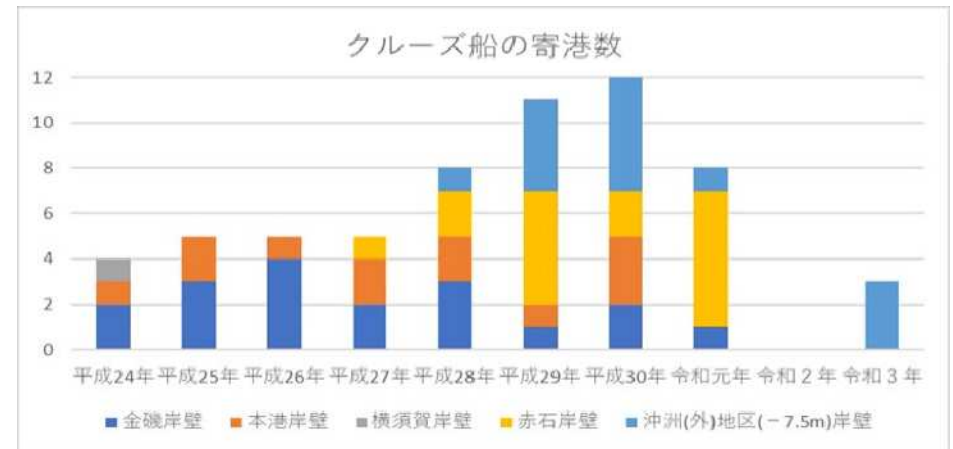
【本港地区の変遷】

年号	変遷
	小松島港は、四国の東岸に位置し、紀伊水道に面した天然の良港として古くから栄える。 (小松島市史より)
大正2年	小松島軽便線として鉄道が営業を開始
大正11年	鉄道が国有化し、小松島線となる
昭和9年	小松島新港地区が完成し3,000トン級船舶の発着が可能となる
昭和16年	小松島港が重要港湾に指定される
昭和26年	小松島市 市政施行、日本赤十字病院誘致
昭和31年	南海フェリー和歌山航路開設
昭和49年	小松島フェリー開設(～大阪南港)
昭和58年	南海徳島シャトルライン就航(～和歌山港)
昭和60年	国鉄小松島港線の廃止、バスターミナル完成、南海徳島シャトルラインが徳島港発着へ変更
平成3年	八千代橋完成
平成5年	小松島フェリー廃止
平成8年	南海フェリー新旅客ターミナルビル完成
平成10年	本州四国連絡道路神戸鳴門ルート of 全線開通
平成11年	南海フェリー徳島港区への移転、保健センター・ミリカホール完成
平成12年	本港地区「しおかぜ公園」完成
平成14年	みなと交流センターkocoloが開業
平成16年	みなと交流センターに産直市オープン

【小松島港のクルーズ船の寄港】



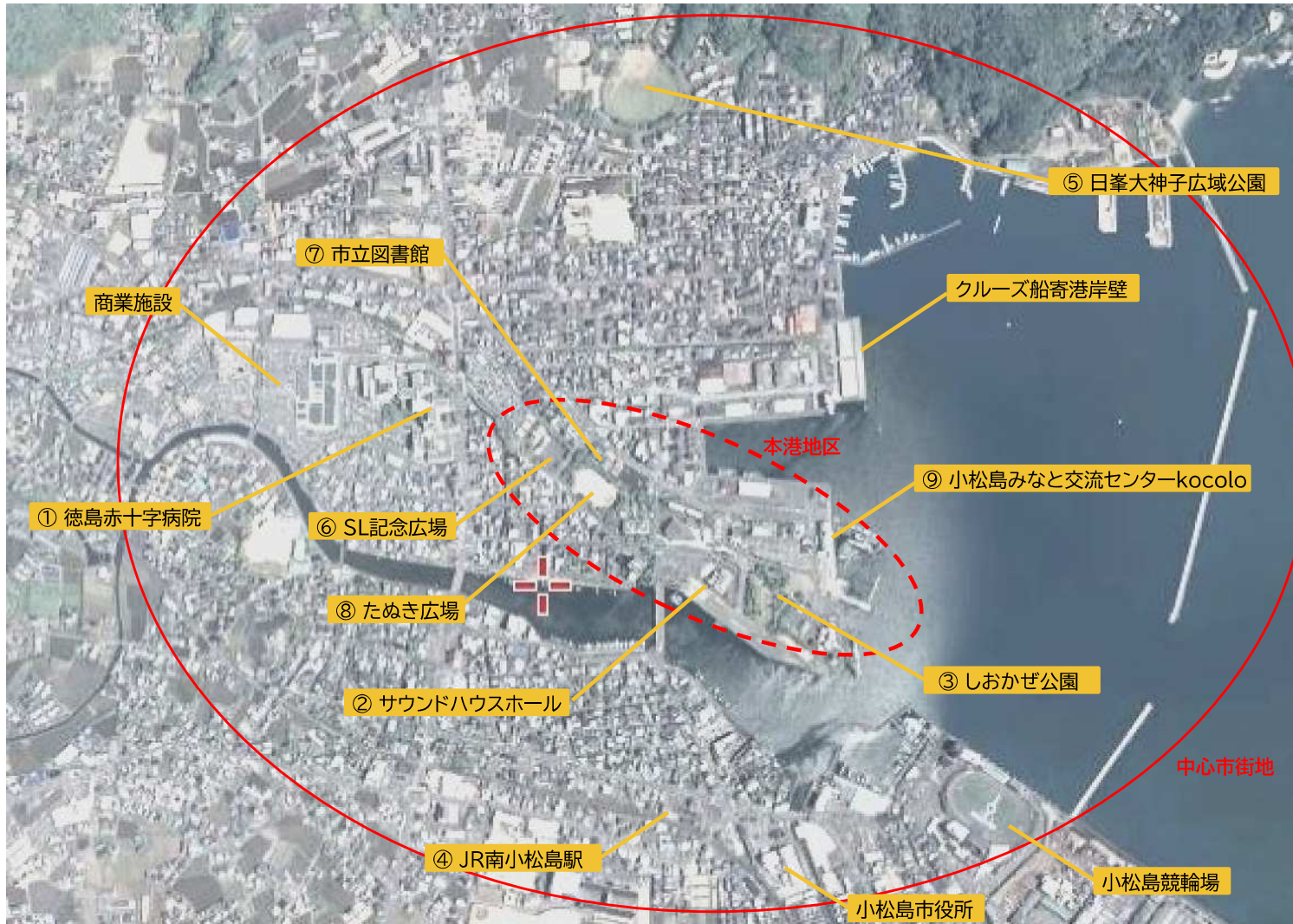
番号	入出港日	船名	寄港岸壁
1	令和4年10月4日(火)	にっぽん丸	沖洲(外) - 7.5m
2	令和4年10月25日(火)	にっぽん丸	沖洲(外) - 7.5m
3	令和4年11月13日(日)	にっぽん丸	金磯
4	令和4年12月12日(月)	にっぽん丸	沖洲(外) - 7.5m



02.

本港地区及び中心市街地の現況

(2) 都市機能について



① 徳島赤十字病院



② サウンドハウスホール



③ しおかぜ公園



④ JR南小松島駅

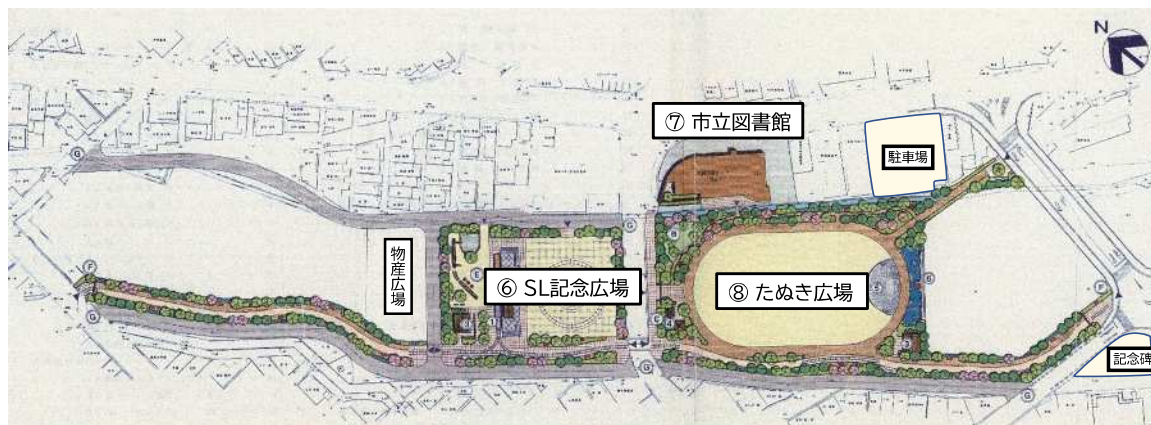


⑤ 日峯大神子広域公園

⑥～⑨は次ページ

⑥～⑧ 小松島ステーションパーク

日本で一番短い国鉄路線であった小松島線の駅跡地に作られた公園で、平成6年度 手づくり郷土賞(ふるさとの文化を育む街角の広場)を受賞しています。



⑥ SL記念広場

国鉄小松島線・小松島駅開業当時の駅舎が再現され、本物の蒸気機関車が展示された、歴史ある姿を現代に伝える、憩いのホームとなっています。



⑦ 市立図書館

子育て支援コーナーのほか、「たぬきコーナー」「海コーナー」など、地域の文化にまつわる図書コーナーが設けられています。



⑧ たぬき広場

金長たぬき伝説になぞらえた、たぬきの像が点在し、手をたたくと水が流れる世界一大きなたぬきの像がシンボルとなっています。

⑨ 小松島みなと交流センター kocolo

旧南海フェリーターミナルを活用し開設。市民交流や文化振興等を目的とした施設として、平成16年8月に周辺一帯がみなとオアシスに登録されています。



現在では、カルチャーセンターやワーキングスペースとしての利用のほか、ウッドデッキを利用したマルシェなどが開催されています。

上位計画から求められるまちづくり

- ▶ 小松島市第6次総合計画 ≪後期基本計画≫
- ▶ 徳島小松島港 中期構想
- ▶ 小松島市都市計画マスタープラン

本港地区の課題

- 人口減少、少子高齢化への対応
- 本港地区と中心市街地が一体となった新たなにぎわいづくり
- 地域活性化のための観光振興対策
- 公共空間を活かした憩いの場づくり
- 時代の潮流への対応

まちづくりを考える上での「6つの視点」

視点1 / 新たなにぎわいの創出

視点4 / 人を育て、共につながるまち

視点2 / 快適な回遊空間の形成

視点5 / 潤い・憩いの空間形成

視点3 / 地域資源を活用した魅力の向上

視点6 / 持続可能なまちづくりの実現

上位計画から求められるまちづくり

小松島市第6次総合計画

《後期基本計画》

目標とする都市像

「未来へ輝く 希望と信頼のまち こまつしま」

まちづくりの政策

- ・ひとりひとりが輝けるまちづくり
- ・未来への活力を育むまちづくり
- ・安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

～本港地区に言及のある施策～

- ・港を中心とした賑わいづくり
- ・観光資源の有効活用と魅力の向上
- ・にぎわいの創出
- ・公共空間を活かした憩いの場の創出

小松島市を取り巻く環境

- ・少子高齢化・人口減少社会
- ・防災・減災、環境問題への対応
- ・先端技術の活用及び人材育成
- ・SDGs(持続可能な開発目標)の推進
- ・新型コロナウイルス感染症などのリスクに対応できる社会づくり

徳島小松島港 中期構想

長期的イメージ

新しい価値観を発信する
「とくしま『未知』知るべ戦略」を支える
徳島小松島港からの創造

物流・防災

時代の転換期に対応した港湾へ

賑わい観光

徳島ならではの歴史・文化を活かした魅力ある港湾へ

環境への貢献

次世代技術による環境負荷低減に資する港湾へ

小松島市都市計画マスタープラン

都市づくりの基本理念

安全・安心・信頼のこまつしま

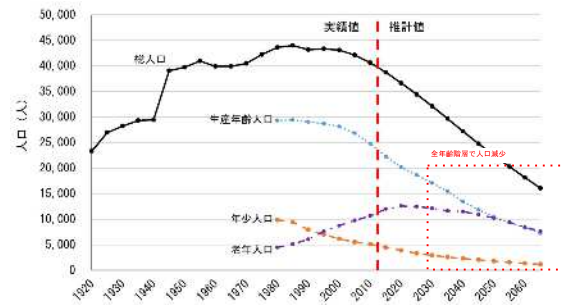
都市づくりの基本目標

- ・集約・連携型都市構造の構築に向けた都市づくり
- ・活力ある地域産業を育む都市づくり
- ・誰もが安全で快適に暮らせる都市づくり
- ・災害に強く安心して暮らせる都市づくり
- ・自然環境と共生した魅力ある都市づくり

本港地区の課題

■ 人口減少、少子高齢化への対応

- ・人口は1985年の43,998人をピークに減少し、2040年には27,193人になると予測
- ・年齢階層別では老年人口が増加していたが、2020年以降は全年齢階層で減少と予測



■ 本港地区と中心市街地が一体となった新たなにぎわいづくり

- ・みなと交流センターkocoloを中心にアフターコロナを見据えた新たなスタイルでの各種イベント開催
- ・多様な世代が活動した交流する、にぎわいのあるまちづくり

■ 時代の潮流への対応

- ・少子高齢化・人口減少社会
- ・防災・減災、環境問題への対応
- ・先端技術の活用及び人材育成
- ・SDGs(持続可能な開発目標)の推進
- ・新型コロナウイルス感染症などのリスクに対応できる社会づくり

■ 地域活性化のための観光振興対策

- ・自然や歴史・文化、産業などの豊かな地域資源を最大限に活かし、地域が一丸となった質の高い観光地づくり
- ・イースト徳島観光推進機構や近隣自治体との緊密な連携による魅力的な旅行商品の開発や観光情報の効果的な発信
- ・観光客のニーズを的確に把握した体験型観光プランの開発・育成、それらを活かした滞在型観光の充実
- ・アフターコロナを見据えたクルーズ客船寄港への対応

■ 公共空間を活かした憩いの場づくり

- ・地域全体で子育てできる環境づくり、子どもの居場所づくり
- ・ファミリー層や高齢者等あらゆる年代の利用者ニーズに基づくより安全・快適で利用しやすい施設づくり
- ・老朽化が進む施設の定期点検や補修等の実施と安心して利用できる管理運営
- ・港の景観を活かした交流空間の整備

まちづくりを考える上での「6つの視点」

視点1

新たなにぎわいの創出

イベントの開催や交流拠点の再整備、既存施設の改修等による新たなにぎわいづくり。



にぎわいを見せた
みなと交流センターkocolo
(みなとオアシス)

小松島市港まつりの
花火

【例】 オープンスペースの整備 / インスタ映えするテラス展望台 など

視点4

人を育て、共につながるまち

人々が健康で安らぎを得られるような空間整備と、交流ができる場づくり。



散歩・ウォーキング
グルート

健康器具の設置

【例】 アスレチック / スポーツ・レクリエーション施設の整備 / 図書施設の再整備 など

視点2

快適な回遊空間の形成

既存の遊歩道を活用した歩きたくなる歩行空間整備による、居心地の良い歩行者ネットワークの構築。



ためぎ広場の
遊歩道

花による
快適な歩行空間

【例】 プロムナード(遊歩道)の整備 / 案内板の整備 / 花や緑による植樹 など

視点5

潤い・憩いの空間形成

海やみなど、緑や湧水を活かした、あらゆる世代が憩える空間の整備。



海を臨むウッドデッキ

緑溢れるためぎ広場

【例】 海を臨むウッドデッキの再整備 / 緑の中のウッドデッキの整備 など

視点3

地域資源を活用した魅力の向上

みなとまちの歴史や文化、海や湧水などの自然資源等、地域独自の資源を活用した地域の魅力の向上。



アイデアの泉(湧水)

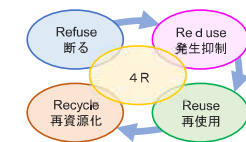
金長ためぎ像の由来

【例】 自然環境を活かした空間の整備 など

視点6

持続可能なまちづくりの実現

デジタル技術の活用、ユニバーサルデザインや環境に配慮した施設整備のほか、民間活力の導入、官民協働などによる持続可能なまちづくり。



4R(発生抑制・再利用・再
利用・発生回避)



防災に配慮した標
識設置の例

【例】 ゼロカーボンに寄与する給電施設整備 など

人々が集い 交流し
にぎわいと憩いをつなぐ みなとまち

～ 新しいみなとまちを目指して ～

小松島みなとまちづくり将来像

海に面した開放的な空間を活かし、
イベントや音楽、スポーツなど様々な活動を楽しみ
あらゆる世代が集う、にぎわいのあるみなとまち

人々が安心して集える憩いのある場を創出し
活気と癒しが共存する多様なみなとまち

①

にぎわい・交流

あらゆる世代が集い、交流し新たなみなとまちを形成します。

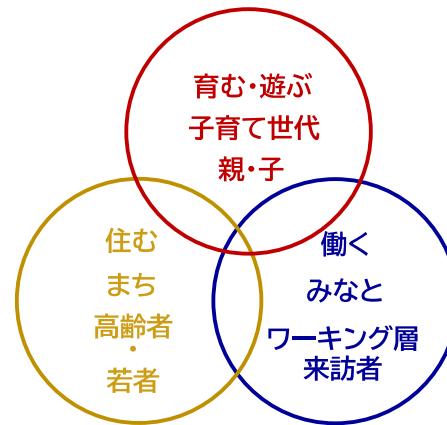
あらゆる世代によるにぎわいづくり

本港地区には、海や港のほか、公園、多目的ホールなど貴重な資源が集積しており、市民の心や暮らしを豊かにし、まちのにぎわいや憩いをもたらすエリアとなっています。その価値を十分に引き出し、新たな付加価値を創出することは、人々の満足度や地域の魅力を向上させ、来訪者の増加、地域全体の活性化につながります。

回遊の仕掛けづくり

本港地区を回遊できる歩行空間を構築します。緑あふれる小松島ステーションパークの遊歩道に繋がりを、居心地が良く歩きたくなるまちにすることで、本港地区の回遊を目的とするような新たな需要を創出します。

距離標を設置したり、健康器具やアスレチック器具などを連続して配置するなど、楽しく健康的でウォーカブルな空間の形成を目指します。



子育て世代を中心に、若者や高齢者など、あらゆる世代が集い、市外からの来訪者とも交流できる“みなとまち”として、スポーツや文化活動等による豊かな余暇や日常のひとときを過ごすことができる空間、中心市街地から近い親水空間・にぎわいの場の整備を目指します。

木のおもちゃ美術館

憩いの空間
杉並区立中央図書館

快適な歩行空間の例



連続した歩行空間の例

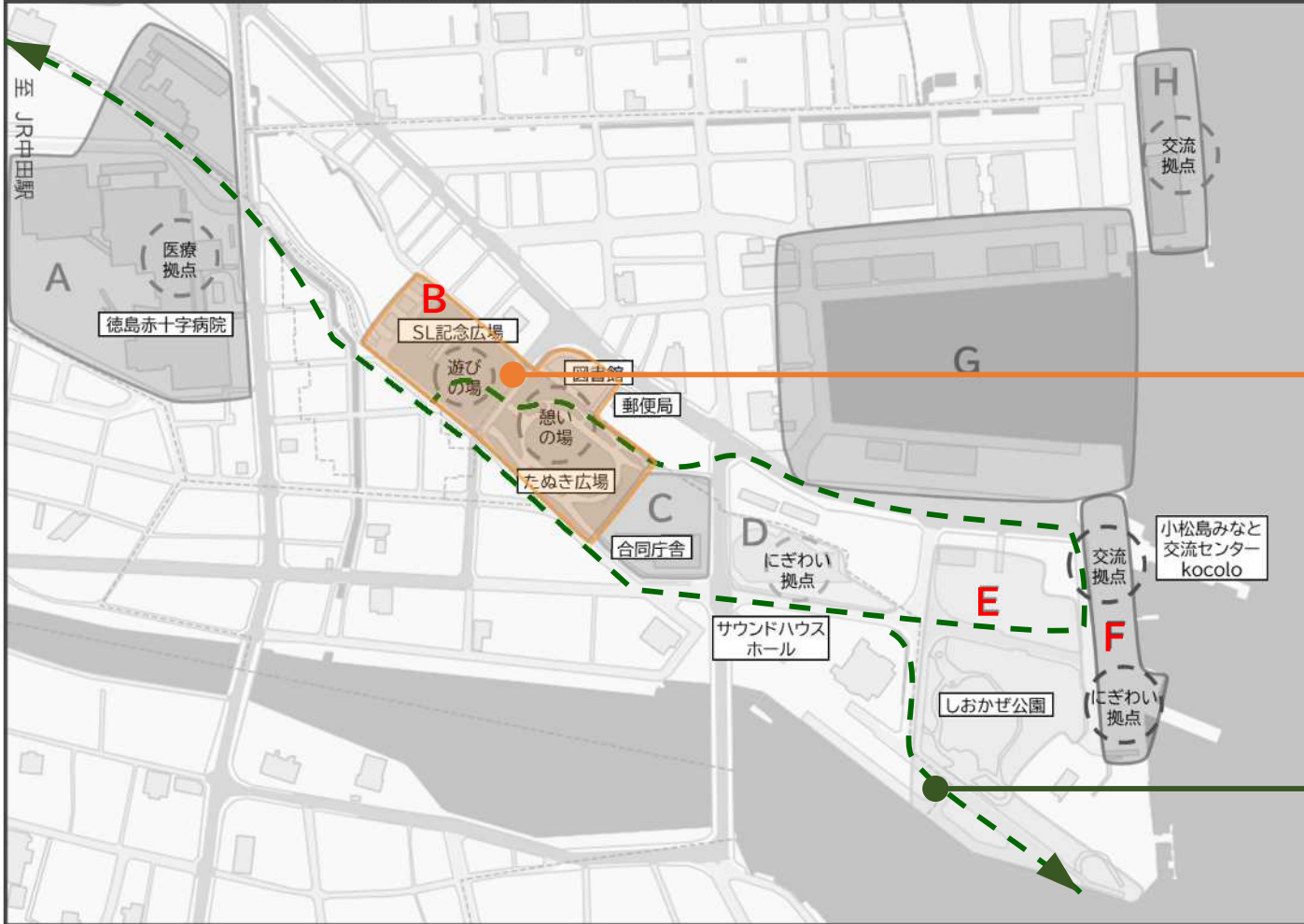


②	まちとの連携	③	④	⑤
	小松島の中心市街地を連携させ、「みなと」と「まち」を結びます。	かつてのみなとまちの栄華を語り継ぐため、小松島市の歴史を楽しく学べる環境を整えます。	海からの訪問者、陸からの訪問者の休憩施設の充実を図ります。	好循環を確立し、持続可能なまちづくりを目指します。
	<p style="text-align: center;">コンパクトなまち</p> <p>本港地区は、約500mの距離に徳島赤十字病院や商業施設が隣接し、市役所や南小松島駅からも1km程度に位置するコンパクトなまちです。</p> <p>そのため、中心市街地の活性化に向けては、本港地区で回遊する遊歩道と歩行空間を連続させ、案内板などを充実させることで中心市街地のにぎわいにつながるよう人の流れをつくります。</p> <p>また、歩行空間は、居心地が良く歩きたくなるまちなかを創出するため、ウォーカブルな空間の形成を目指します。</p>  <p style="text-align: center;">案内図によるアクセス性向上例</p>	<p style="text-align: center;">学び、継承し、訪れてもらう</p> <p>かつて交通の要衝として栄えた小松島市。その歴史や、育まれてきた文化を楽しく学びながら未来へ継承していく施設整備を図ると同時に、魅力ある空間を形成し、その魅力を積極的に発信することで新たな来訪者の増加を図ります。</p>  <p style="text-align: center;">楽しく学べる空間イメージ</p>	<p style="text-align: center;">来訪者のリフレッシュ</p> <p>内航船やクルーズ船による海からの来訪者や、高速道路の供用による陸からの来訪者が、眺望の良い海や緑豊かな公園で休息したり、ウォーキングやアーバンスポーツなどでリフレッシュできる空間の形成を目指します。</p>  <p style="text-align: center;">癒やしと憩いの空間イメージ</p>	<p style="text-align: center;">連携とまちづくり</p> <p>地域人材の知見や資源、技術をつなぎ、補完しあうことで地域課題の解決、まちとみなとの魅力向上、人とのつながりや生きがいを促進するなど市民生活向上の好循環を確立し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みや、持続可能なまちづくりを推進します。</p>  <p style="text-align: center;">みなとマルシェの様子</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">一般社団法人ウォーターフロント協会HPより</p>

07.

みなとまちづくりプロジェクト

本港地区 / 中心市街地 ゾーニングイメージ



- A. メディカルゾーン
- B. 学びのレクリエーションゾーン
- C. 公共施設ゾーン
- D. 文化レクリエーションゾーン

- E. アクティブレクリエーションゾーン
- F. ウォーターフロントゾーン
- G. 港湾ビジネスゾーン
- H. 船舶交流ゾーン

赤字:積極的に民間活力の導入を検討するゾーン
 --- 快適な回遊路

5つの戦略凡例

- ① にぎわい・交流
- ② まちとの連携
- ③ 歴史・文化・観光
- ④ オアシス
- ⑤ サスティナブル

癒やしと憩いの空間プロジェクト ①②③④⑤

明るく開放的な図書館を整備し利用者数を増やします。また、子供たちが遊べる遊具を整備し、子育て世代が集いやすい環境を整備します。図書館と広場を連携させ、大人も子供も共存して楽しめるレクリエーション空間を創出します。

杉並区立中央図書館



回遊空間形成プロジェクト ①②④⑤

歩行者のための連続した回遊路を整備し公園の遊歩道と接続することで、快適な歩行空間を整備します。距離標の設置やアスレチック遊具を配置する等、回遊性向上の仕掛けづくりを図ります。



たぬき広場の遊歩道

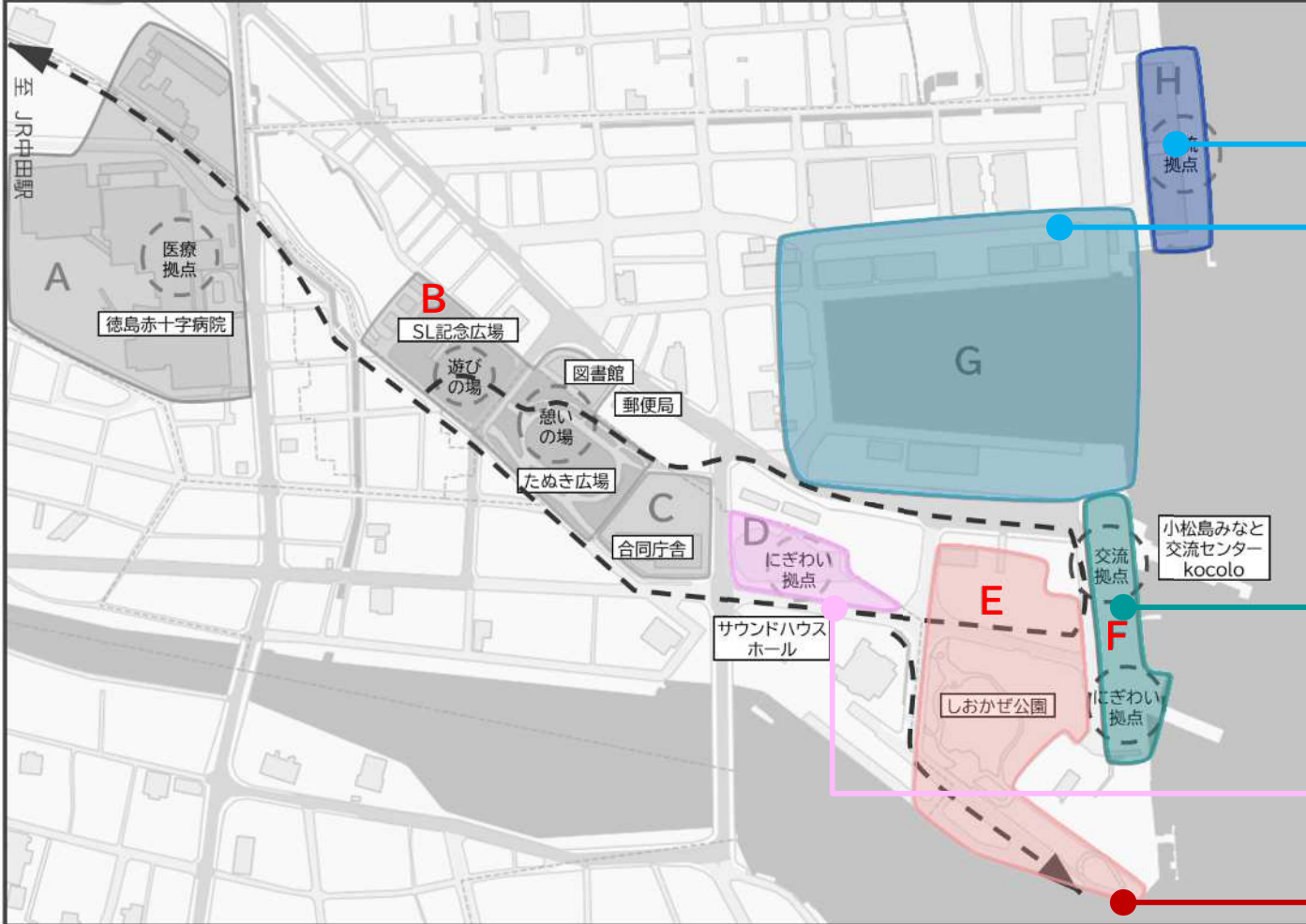
快適な歩行空間のイメージ

回遊路の距離標のイメージ

07.

みなとまちづくりプロジェクト

本港地区 / 中心市街地 ゾーニングイメージ



- A. メディカルゾーン
- B. 学びのレクリエーションゾーン
- C. 公共施設ゾーン
- D. 文化レクリエーションゾーン

- E. アクティブレクリエーションゾーン
- F. ウォーターフロントゾーン
- G. 港湾ビジネスゾーン
- H. 船舶交流ゾーン

赤字:積極的に民間活力の導入を検討するゾーン

--- 快適な回遊路

5つの戦略凡例

- ① にぎわい・交流
- ② まちとの連携
- ③ 歴史・文化・観光
- ④ オアシス
- ⑤ サスティナブル

ウェルカム空間プロジェクト

- ①
- ②
- ④
- ⑤

みなとまちらしい光景を創出し、港湾地区に訪れる人を楽しませる空間を形成します。



夜のイルミネーションの例(函館市)

にぎわい交流プロジェクト

- ①
- ②
- ④
- ⑤

子育て世代を中心にあらゆる世代が集い交流できる空間を、みなとの景観を活かして整備します。天候に左右されず、親子が安心して遊べる場を創出します。



徳島木のおもちゃ美術館

人を引き込む施設(高知市)

文化芸術にぎわいプロジェクト

- ①
- ③
- ⑤

文化芸術のランドマークとしての機能強化を図ります。

アクティブ交流プロジェクト

- ①
- ④
- ⑤

屋内プールや多目的に利用できる会議室など誰もがいつでも運動や学びをとおして交流できる空間を整備します。



スポーツ施設のイメージ

継続的な取り組み

アクセス向上

- ▶ 駐車場の最適化や位置図設置
- ▶ 歩行者を案内するサイン計画
- ▶ 公共交通の利便性向上

など



協働するイベント開催

- ▶ 市民との協働によるイベントの開催
- ▶ イベントや施設に関する情報発信

など



安心・安全の確保

- ▶ 近傍の津波避難地への誘導標識の設置
- ▶ 本港地区の避難情報の掲示板設置
- ▶ 防災拠点、日峯大神子広域公園への案内

など



■ 癒やしと憩いの空間プロジェクト



市立図書館とためき広場の連続した空間イメージ(案)



杉並中央図書館(イメージ)

07.

みなとまちづくりプロジェクト【イメージ】

■ にぎわい交流プロジェクト



テラス展望台イメージ



カフェイメージ



イベントスペースイメージ(高知市 蔦屋書店)

kocoloのにぎわいイメージ(案)

■ にぎわい交流プロジェクト



屋内施設イメージ (秩父別町 こども屋内遊戯場 キッズスクエア「ちっくる」)



子どもの屋内施設イメージ／おむつ台設置例
(徳島木のおもちゃ美術館)



子どものプレイランドイメージ
(流山市南流山児童センター)

■ アクティブ交流プロジェクト



屋内プールのイメージ(案)



会議室のイメージ(案)



会議室のイメージ(案)



ジェットプール、ジャグジーのイメージ(案)

出典)花の杜オートキャンピア <https://www.hananomori.jp/shisetu/pool.html>

08.

今後の整備方針

1. 本港地区及び中心市街地の事業化の方針

本プロジェクトにおいて本港地区及び中心市街地の整備を実施するにあたり、5つの戦略を持ってみなとまちづくりに取り組む上での4つの事業方針を定め、その方針のもと事業を推進します。

- ① 国、県、市と関係団体、市民が連携した事業推進を図る。
- ② 事業を実施するにあたり、交付金・補助事業を推進する。
- ③ 様々な施設利用者や地域住民等の相互の多様な交流がしやすい空間づくりに努めます。また、にぎわいの創出や回遊性の向上のため、周辺の施設や中心市街地との連携による相乗効果、波及効果を生み出す施設を目指します。
- ④ 民間事業者の資金やノウハウを活用するPPP/PFI手法の導入など、官民連携による効率的な施設整備や管理運営を検討します。民間事業者の事業参画意欲を高め、関連民間開発の誘発などの相乗効果を目指します。

小松島みなとまちづくり将来像

人々が集い 交流し
にぎわいと憩いをつなぐ みなとまち
～ 新しいみなとまちを目指して～

2. 整備イメージ



08.

今後の整備方針

ウォーターフロントゾーン

小松島みなと交流センターkocoloを官民連携により施設改修を図り、子育て世代を呼び込む施設整備を行います。海に面した立地を活用した、イベント開催や開放的な空間により、にぎわいのあるゾーンを形成します。

Before



After



イメージ写真(高松市)

学びのレクリエーションゾーン

市立図書館とためき広場を連続した空間を整備します。開放感のある癒しと憩いの空間を創出し、誰もが一緒に遊べるインクルーシブ遊具をSL記念広場に設置します。施設整備においては、民間活力の導入を検討します。

Before



After



イメージ図(連続空間)

アクティブレクリエーションゾーン

天候や気候に左右されない屋内プール、運動や学び、趣味等多様な目的に対応可能な空間を備えた複合施設を整備します。施設整備においては、民間活力の導入を検討します。

Before



After



イメージ写真(屋内プール)

08.

今後の整備方針

港湾ビジネスゾーン

内航船の利便性向上を図るとともに、環境負荷低減やエネルギー効率を考慮した環境整備を検討します。



イメージ写真(函館市)

船舶交流ゾーン

大型船舶の関係者が憩うことができる空間の整備を検討します。



イメージ写真

出典)南紀シーターガーマリーナのブログ <http://sea-tiger.jugem.jp/?eid=243>

快適な回遊路

連続した歩行空間を、居心地が良く歩きたくなるまちなかを創出するため、快適でウォーカブルな歩行空間を整備します。

